

# KVK 流し台用シングルレバー式混合栓(分岐ジョイント付) 取扱説明書

## KM556(Z) UGTN 〈各仕様共通〉

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。  
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

### 安全上のご注意

- ここに示した **注意** は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です。

この絵表示は、「接触禁止」の内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

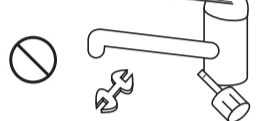
### 注意

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



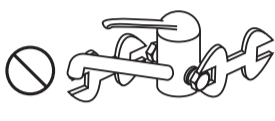
器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



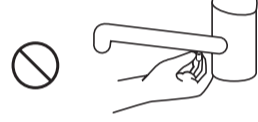
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給湯・給水分岐孔は接続時以外は、はずさないでください。



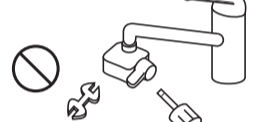
給湯・給水分岐孔をいきなり開けますと湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。(寒冷地仕様の場合)



水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

浄水器等を取付ける為の本体の改造等はしないでください。



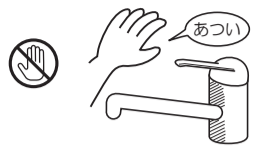
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。



やけどのおそれがありますのでやけどのおそれのないところで水圧変動を押さえた配管設備にするか、サーモスタット式水栓を使用してください。尚、シングルレバー式水栓に比べサーモスタット式水栓の方が水圧変動による吐水温度の変化はわずかな値となります。

器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具(金属)の表面に直接肌を触れないでください。



やけどをするおそれがあります。

キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。



やけどをするおそれがあります。

レバーハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。



高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。



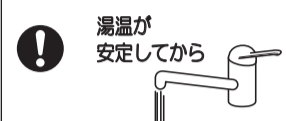
湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いのときには吐水パイプは高温になっています。直接肌を触れないでください。



やけどをするおそれがあります。

お湯を使用した後で次に使用する時、若干温度変化する場合がありますので、しばらく吐水させて湯温が安定してからお使いください。



湯温が安定してからやけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

レバーハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。配管などの解氷の為、解氷機をご使用の場合は水栓部には絶対に通電しないでください。

やけど、漏水をした場合の処置

**やけど**

やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

**漏水**

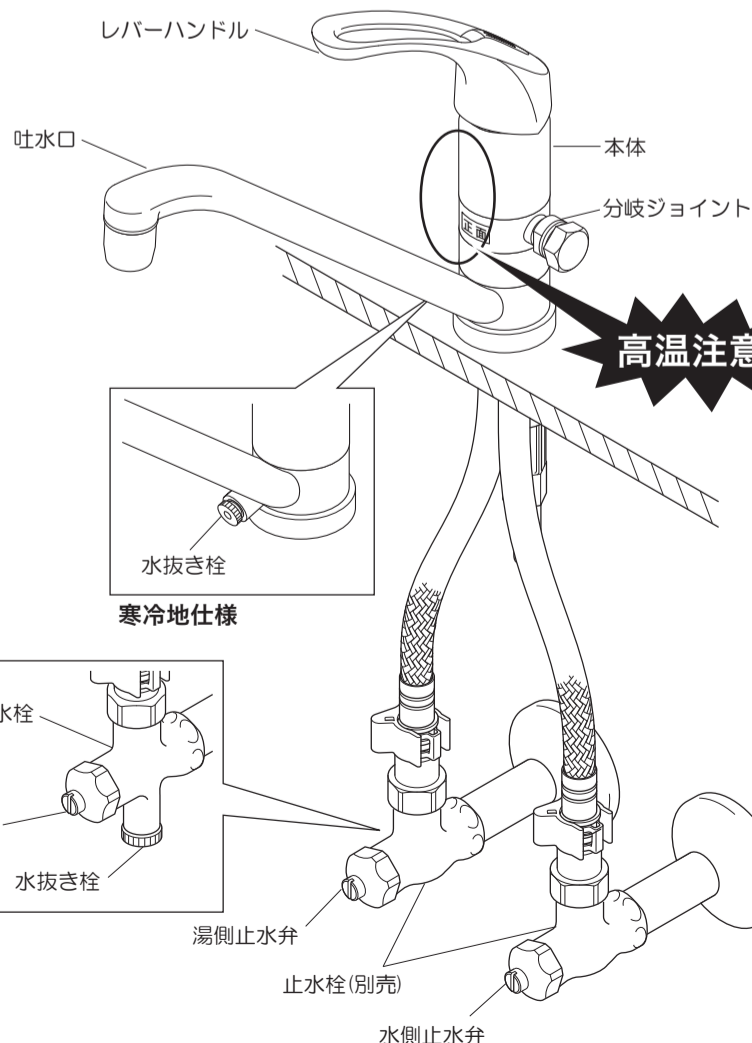
漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

### ご使用前に

#### 給湯機の使用上のご注意

- レバーハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- レバーハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は、レバーハンドルで調節を行ってください。)
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。(瞬間型の場合)

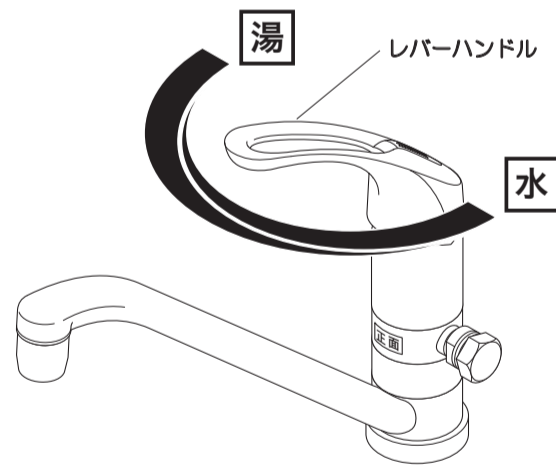
#### 名称



### 使用方法 1

#### 温度調節

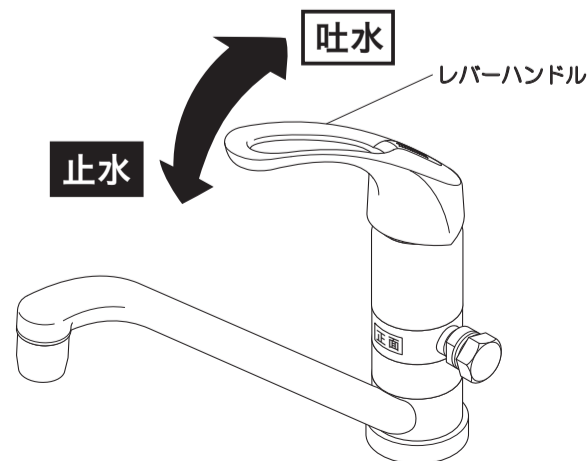
レバーハンドルを右へ回すとぬるくなり、左へ回すと熱くなります。



#### 吐水：止水・流量調節

レバーハンドルを上げると吐水、下いっぱいまで下げると止水します。流量は上へ上げるほど増します。

【注意】レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー(衝撃音)が発生するおそれがあります。



## 使用方法2

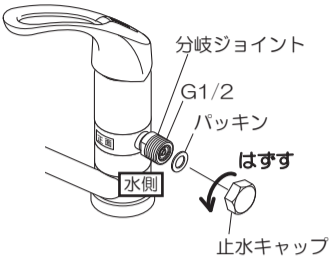
### 分岐ジョイント

食器洗い機・浄水器等に給湯・給水する場合にご利用できます。

- 【△注意】
1. 止水キャップは接続時以外ははずさないでください。いきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害の発生のおそれがあります。
  2. 給水・給湯どちらでも使用できますが、浄水器、整水器は給水接続しか使用できません。又、食器洗い乾燥機の場合、給湯機の設定温度によっては給水接続しかできない場合がありますので、十分仕様を確認してください。
  3. 接続の場合は、接続する機器(食器洗い機・浄水器等)の給水条件及び施工上の注意事項をよくご確認ください。
  4. 分岐ジョイントから以降接続された設備については保証の対象外となります。

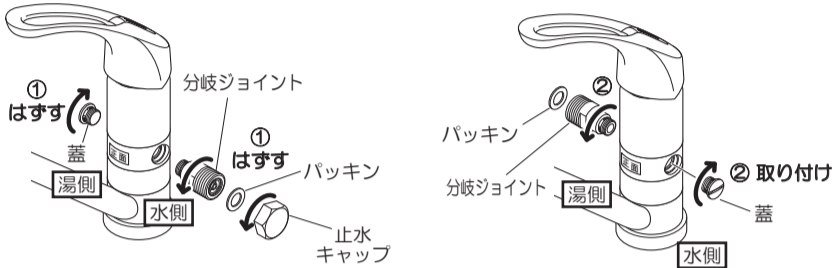
**水側分岐をする場合** ※工場出荷時はこの仕様になっています。

水側止水栓の止水弁を締めます。  
右側(水側)の分岐ジョイントの止水キャップを取りはずし、接続します。  
この時、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けてください。



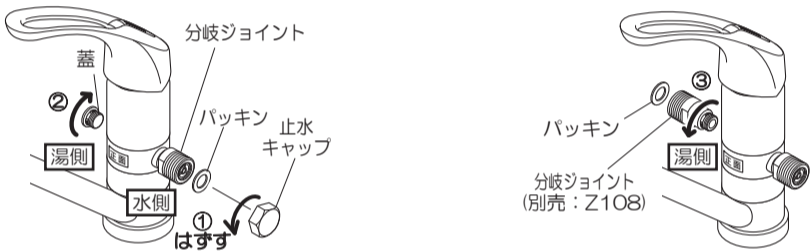
**湯側分岐をする場合** ※分岐ジョイントと蓋を付け替えます。

- ① 湯側止水栓の止水弁を締めます。
- ② 右側(水側)の止水キャップと分岐ジョイント、左側(湯側)の蓋をはずします。
- ③ 左側(湯側)に分岐ジョイント、右側(水側)に蓋をスパナ、ドライバー等を使ってしっかりねじ込み、接続します。



**湯・水同時分岐する場合** ※別売の分岐ジョイント(Z108)1個をご用意ください。

- ① 湯・水止水栓の止水弁を締めます。
- ② 右側(水側)の分岐ジョイントの止水キャップを取りはずして接続します。
- ③ 左側(湯側)の蓋をはずします。
- ④ 左側(湯側)に別売の分岐ジョイント(Z108)をスパナを使ってしっかりねじ込み、接続します。



5

## 日常の保守・点検・お手入れ

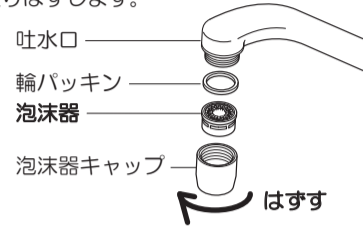
### △ 日常の点検・ご確認

- 定期的に配管の周り(キャビネット内)を見て、水漏れがないか確認してください。怠りますと、部品の劣化、磨耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 時々、水栓にガタつきがないか確認してください。固定がゆるんだまま使用すると、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水口を長期間回転させずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなる場合があります。無理に回そうとすると水漏れの原因になりますので、日頃から時々吐水口を左右に動かしてください。

### 泡沫器の清掃方法

吐水口の泡沫器がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

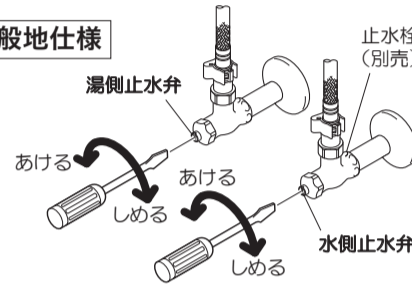
- ① 吐水口の泡沫器キャップをはずす方向にひねって、泡沫器を取りはずします。
- ② 泡沫器をブラシで水洗いします。



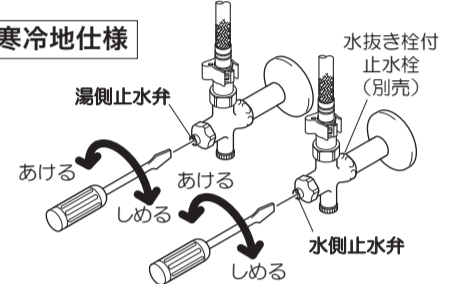
### 止水弁の調節方法 (止水栓は本製品に同梱されていません。別売です。)

流量調節は下記の方法で行ってください。

#### 一般地仕様



#### 寒冷地仕様



### お手入れのしかた

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてからかわいた布でふき取ります。使ってはいけないもの



製品には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビ取り剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。また、金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。メラミンフォームやクレンザーを使用する場合は、文字やマークなど印刷部分は、擦らないようにしてください。

6

## 水抜き方法

- 【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 〈寒冷地仕様水栓の場合〉

凍結が予想される際は、下記のように水栓金具の水抜きを行ってください。

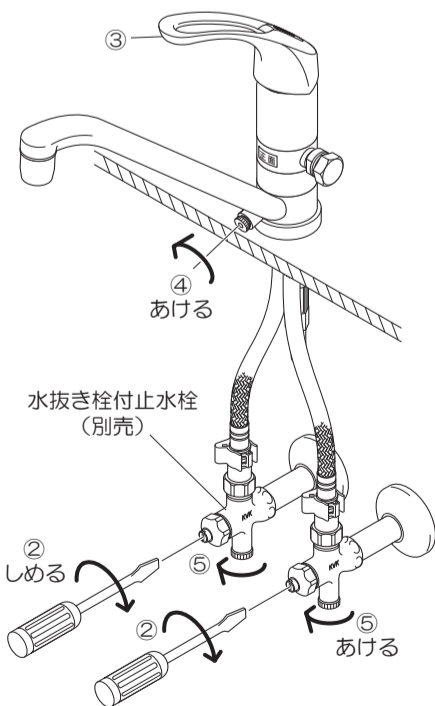
器具のみの水抜き	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操作
①	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水源の水抜き栓の操作)
②	②	湯水の止水栓の止水弁(2カ所)を締めます。
③	③	レバーハンドルを真ん中の位置で吐水状態にします。
④	④	吐水口の水抜き栓を開けます。
⑤	⑤	湯水の止水栓の水抜き栓を開けて水を抜きます。

【お願い】水抜き後、再通水する前に水抜き栓がしまっている事を確認してください。

#### 再通水の時に水が出ない場合

吐水状態でそのまましばらくお待ちください。  
※これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象で、異常ではありません。

【△注意】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。



### 〈一般地仕様水栓の場合〉

【△注意】凍結のおそれがある際は、以下の処置を行ってください。

- ① 水栓より少量の水を出しておきます。
- ② 配管などに布を巻きます。

【△注意】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

## 故障かなと思ったら…

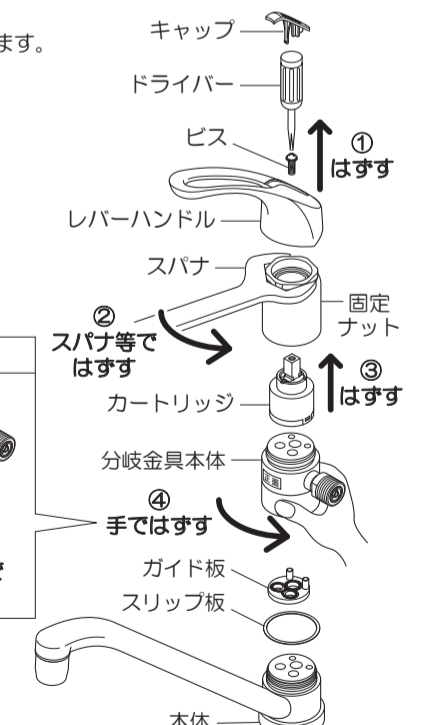
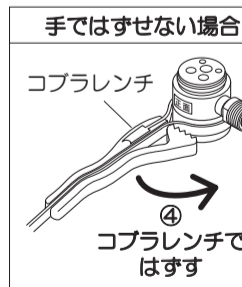
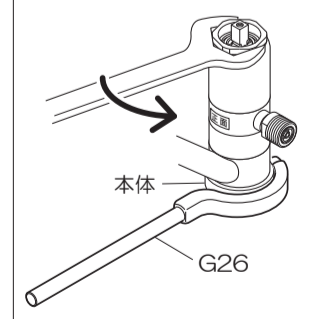
次のような現象は故障ではありません。表に従ってもう一度確かめください。

現象	処置
●吐水量が少ない	止水弁を開ける(湯温・流量調節参照) 泡沫器を清掃する(泡沫器の清掃方法参照) 水圧を使用条件に合わせる(施工説明書の使用条件参照)
●高温しか出ない ●低温しか出ない	止水弁を開ける(湯温・流量調節参照) 必要とする湯の温度より、給湯温度を上げる

## 分解・メンテナンスの方法

- ① キャップを先の細い精密ドライバー等で起こし、ビスをドライバーでゆるめレバーハンドルを取りはずします。
- ② スパナ等で固定ナットをはずします。
- ③ カートリッジを取りはずします。
- ④ 分岐金具本体を手ではずします。  
手ではずせない場合は、金具本体と手の間にゴム板を挟んで回すか市販のコブラレンチを使用してはずしてください。

【注意】本体が共回りしないように、別売の専用工具G26で本体をおさえて取りはずしてください。



## 株式会社 KVK

### 補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。  
なお、補修用部品のご購入については取付店・販売店または最寄のKVK営業所にお問い合わせください。

本社・工場 / 〒501-1195 岐阜市黒野308 / TEL.058-239-3111代表  
 東北支社 / TEL.022-225-3304代表 東京営業所 / TEL.03-3981-4711代表  
 関東支社 / TEL.03-3981-4711代表 埼玉営業所 / TEL.048-688-6333代表  
 関西支社 / TEL.06-6536-2511代表 西関東営業所 / TEL.045-983-5095代表  
 札幌営業所 / TEL.011-863-1116代表 名古屋営業所 / TEL.052-566-1701代表  
 仙台営業所 / TEL.022-225-3304代表 大阪営業所 / TEL.06-6536-2511代表  
 群馬営業所 / TEL.027-324-2895代表 広島営業所 / TEL.082-876-3001代表  
 東関東営業所 / TEL.028-633-7388代表 福岡営業所 / TEL.092-411-3054代表

7

8